

保育原理	1年 前期	講義2単位	担当教員名	鈴木 永 二
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育とは何か、保育に関わる基本原理について学ぶ。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の意義について理解する。</li> <li>・ 保育の内容と方法の基本について理解する。</li> <li>・ 保育の思想・歴史について理解する。</li> <li>・ 保育の現状について理解する。</li> </ul>				
授業の概要 保育士国家資格・幼稚園教諭二種免許状を取得するためには、保育原理の他、保育内容・保育者論などの科目を履修する必要がある。これらの科目は、別個で考えるのではなく、繋がりがあ科目として学ぶ必要がある。保育原理は保育の基本を学ぶ科目である。保育者になるための基本科目であることを念頭に、講義に集中して学ぶ必要がある。また保育者の自覚を促すためグループ討議等も講義中に実施する。				

#### 授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	イントロダクション	・オリエンテーション ・保育とは何か ・保育と教育、養護の関係について
2	保育と子ども観	・子ども観とは何か ・保育者の子ども観 ・子ども観と保育方法について
3	子どもの理解について	・保育における子どもの理解 ・子どもの発達とまなざしについて
4	子どもが育つ環境①	・子どもが育つ環境とは ・物的環境と人的環境の関連 (グループ討議)
5	子どもが育つ環境②	・時間について考える ・子どもが育つ環境を振り返る
6	保育内容と方法①	・保育の基本と保育内容について ・保育の基本と保育方法について
7	保育内容と方法②	・子どものための保育内容とは ・子どものための保育方法とは
8	保育計画と実践	・保育における計画 ・保育計画の作成(演習:グループワーク・トレーニング)
9	障がい児への対応	・障がい児とは ・障がい児への対応方法 ・子どもの安全とは (グループ討議)
10	保育の歴史①	・保育の歴史(ヨーロッパ等諸外国) ・保育の歴史(日本:近代)
11	保育の歴史②	・保育の歴史(日本:現代) ・集団保育施設の誕生と発展について
12	保育者に求められるもの	・保育者の仕事 ・子どもとの関わりについて ・保護者の関わりについて
13	家庭援助と子育てについて	・現代の子育てについて ・相談援助の基本原則 ・保育所における相談援助
14	保育の苦情処理と研修	・保育の評価について ・苦情対応方法(事例から) ・保育者の研修について
15	保育の現状と課題	・子どもを取り巻く環境の変化と保育料 ・保育所の現状
定期試験	15コマ終了後実施する。	
テキスト	森上史郎・小林紀子・若月芳浩『最新保育講座1 保育原理』ミネルヴァ書房	
参考図書	関口はつ江『保育の基礎を培う保育原理』萌文書林	
教員の 評価方法	学習への関心態度(10%)、課題・レポート(20%)、定期試験(70%)の総合で評価する。	
準備学習等 履修上の留意点	幼稚園教育要領、保育所保育指針を中心に予習・復習してくること	